friendship force
AICHI

No.84

Newsletter

1 月 30 日に 2010 年の新しいスタートをきった FF 愛知は 2 月 27 日～28 日奈良の日本大会、4 月 8 日～15 日のエジプトのカイロクラブ受入、4 月 21 日～28 日のカナダ・ハミルトンクラブ訪問と順調に活動を進めてきている。秋の受入、渡航交換の前には夏の親睦バス旅行が計画されているが今年もいろいろなプログラムにより多くの会員の参加が望まれる。それが FF 愛知の活性化につながっていくものと信じてやまない。

The Friendship Force 第 23 回　日本大会　2010 年　奈良

FFI 会長　のメッセージ　　*George Brown*

FFI は 33 年の長い歴史の誇りと共に将来のあり方について考えて行かなければならない時期に来ている。理事会は 2 年前にこの組織の更なる発展のために様々なことを検討した。

・新しいロゴの導入
・レガシーキャンペーン基金によりモロッコ、スイス、カナダに新しいクラブの創設
・FFI の新しい戦略として（専門家のアドバイスを得）3 つのタグラインを設定

1．Explore（発見)―今まで知らなかった国の人々が交換（家庭訪問）を通しての新しい文化の発見
2．Understand(相互理解)―発見は出発点であり、そこからお互いの理解が始まる
3．Serve(相互援助)―FF の交換活動を通して、結果として生まれる活動

FF は人道的援助を目的とする国際組織ではないが、世界中の FF の交換活動の後、ニューオ―リンズのハリケーン、インドネシアの津波、ハイチの地震などの災害への援助が自然発生的に行われてきた。また、コスタリカの学校援助、ロシアの孤児院、開発途上国のみならず地元の人々の求めに応じて人道支援が行われている。「異なる国の市民同士が交換を通し、相互理解を深めることにより世界平和を推進しよう」という目的をもった FF の活動が、今後更に発展していくことを求めてやまない。（要約）

大西弘さん、奈良の皆さん、ありがとう　　　　橋本忠幸

白木さん始め同行の11名の皆さん、お世話になりました。楽しく、ゆったりと、心休まる小旅行でした。

ジョージ・ブラウン会長の3つのヘッドライン①発見②相互理解③相互援助の話。了解です。しかし、コンサルの提案でなく自分たちで考えるべきでしょう。FFの一番の目的は国際交流による国際親善、国際理解であり、ひいては国際平和への貢献と思います。継続し、交流を深めることで、真の友達となり、楽しいものとなります。

メインイベントのパネルディスカッションは率直で多様な意見が出てとても有意義でした。無理にまとめることなく、後はそれぞれのクラブで考えてください、という終り方はなかなかスマート。寛容な皆さんの集まりのFFだからこそ出来たと思います。生で聞き、見る雅楽、舞楽は魅力的でした。平和であったからこそ1300年も保存され、続いているという解説は私にとって新鮮で、FFにふさわしいイベントでした。

翌日からの薬師寺、唐招提寺、興福寺、東大寺の二月堂、写真美術館、新薬師寺は、十分時間をかけて味わうことが出来ました。途中の昼食、夕食も良いお店でとても美味しくいただきました。

■ 奈良の休日 ■

FF愛知のメンバー12名は日本大会終了後、もう一泊して奈良の観光を楽しんだ。リーダーは白木さん。

今日は冨岡さんの69歳のお誕生日

全員無事に電車に乗りました

白木さん：「今日の行程は薬師寺⇒唐招提寺⇒興福寺です。良く聞いてくださいよ。今から電車に乗ってまず薬師寺へ行きます。」
谷川さん：「はい、分かりました。今からどこへ行くのですか？」
白木さん：「同じことを二度と言いません！」

■パネルディスカッション■　パネリスト：郡山・東京・大阪・愛媛クラブ代表　司会：大西　弘氏

1． **<u>高齢化問題についてどのように考えられますか？</u>**

・社会現象の一つであるが、年齢とは別にFFの精神で個々の活動が活性化するかが問題である
・活動には多少時間的、経済的な余裕が必要でリタイア組が中心になって行くのが現状である
・プログラム運営上難しい点もあるが若い年代の人々を取り組んだ活動も工夫していきたい
・将来への種まきとして、国際感覚を育てる意味で子供や孫を渡航に参加させるのは良いと思う

2． **<u>FFの活動は受入と渡航だけで十分と思われますか？</u>**

・地方のFFクラブだが、様々なクラブ活動を通して会員の交流、会員募集に役立っている
・我々都市部のクラブは会員が広範囲にまたがっているため,全員集合の機会を持つのが難しい
・我々のクラブは年6回の交換プログラムで忙しい。その事自体が会の活性化になっている

3． **<u>クラブの壁を越えたテーマ別交換についてはどうでしょう？</u>**

・テーマ別、全世界的参加者の交換は面白いが具体的に受入になると難しい面がある
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

FF愛知の感想：子供の渡航参加は国際感覚以前で日本のスポイルされた子供の渡航は慎重に考えたい
現在いる会員を大切にしていきたい。年4回の交換の他に交流の場を考えたい
若い年代の開発は様々な観点から魅力あるテーマである - 若いリーダーが必要？

エジプト　カイロクラブ交換 4/8～15―興味深い異文化交流の 1 週間

エジプト交換を終えて　　土居陽子

昨年の 11 月にカイロにメールを送ったところいまは交換中で忙しいから終わったらメールをすると返信があったきりでなしのつぶて。その後こちらから 4 月 1 日から 8 日まで、そのあと郡山にしてほしいと送っても何の返事もなし。そして年が明けてから突然 4 月 8 日から 15 日に愛知に行くからとメールがありました。こちらが送ったメールに対して返事がなく相手が必要な時はメールがくるといったやり取りでした。マッチングが決まったら大使館の申請書を今度は早く送れと言ってきました。コミュニケーションが取れないと人は、不安になるとつくづく思いました。 到着されるまでいろいろありましたが、いざ、お目にかかるととても気さくな明るい　ED で、到着されたその日から台所に立って手伝ってくださいました。ハナさんはずっと outbound と inbound の ED を続けてこられているので、とても気遣いのできる方でした。イスラム社会において女性の地位は低く、いまだに夫の主導権が強く 3 度「離婚をする」と夫が言うと離婚成立。そして財産分与もなし。子供に息子がいないと財産は男兄弟に行くと聞きました。しかし、あの方々の強さはどこから来るのか？疑問ですが、いろいろ大変だったからこそ面白い交換だったと言えると思います。皆様のご協力に感謝いたします。

明るくて、自己主張が強い、楽しいエジプトのアンバサダー

カイロからの受け入れを終えて　大矢道子

FF 愛知に入会して初めての受け入れでした。ご夫婦で 1 週間。それに宗教的な事、皆さん体格が良いと聞いていましたので、我が家の寝具で寝られるかしら、食事は？と心配をしていました。郡山のホストからもゲストが何サイズか教えてほしいとメールを頂きました。

空港でお二人にお会いし私の心配はすべてクリアしました。お二人はクリスチャン、それに我が家の布団で大丈夫。毎朝のヘルシー朝食を気に入って頂き、帰国後、食生活を改善するといっていました。デイホストをしてくださった成田さん有難うございました。お陰で日曜、月曜（京都旅行）とのんびり出来ました。長いステイの中で皆さんのサポートが必要ですね。フリータイム、イベント後どこへ行きたいか、でご夫婦の意見が違い面食らうことがありました。

買い物に時間がかかり、時間を短く設定すると「女性にとって買い物は楽しみのひとつだから時間は多めにとって」とご主人に言われ、（我が家ならば怒り出すでしょうね。）待つこと度々ありました。ステイ最後の日に明日から平和になるね、といわれました。郡山での最後の日にホスト宅からお礼の電話を頂き、カイロでの再会を約束しました。良い経験をさせて頂きました。今回主人の協力もあり何事も無く無事終えたこと嬉しく思います。

加藤会長宅でのパーティー

パーティー会場で交歓する
愛知と岐阜クラブの男性

ED のハナさんと土居陽子さん、司会の
加藤八郎さんと昨年のカイロ交換で
渡航 ED をされた岐阜クラブの草野さん

カナダ渡航 4/21～28　カナダは風景も人々も空気も美しい

カナダ交換を終えて　ED 堀　夏江

4 月はまだ寒いと思い込んでいたのが嬉しい誤算！天気が味方してくれた事、皆さんの協力があったこと等から楽しい交換が出来たと思っています。一緒にステイした蟹江さんと毎日早くに家を抜け出し 1 時間弱散歩、雨の日は流石に寒く家に帰った時は震えていました（それでも散歩した二人は物好きとしか言えない？）

今回感じたことは国によって、クラブによって交換に対する考え方の違いやアンバサダーとの接し方の違いです。それの善し悪しは兎も角、そのクラブなりの一生懸命さは感じられたし、気楽さも感じることが出来ました。ステイ先の奥さんの方はかなり早口で話好き、ご主人の方はどちらかと言えば物静か？でも、夫婦仲が良く見ていて微笑ましく思いました。要は、受ける方もステイする方も楽しむことが大事です。その意味では有意義な良い時間を過ごせたように思います。ステイ先の ED、の多大な協力に感謝しています。小倉さんのエンターテイメントも大成功、小林さんの通訳も助かりました。皆さんの協力、ありがとうございました。

波打つ自然が育くむたくましいカナダ人　小林啓子

FF の渡航を初めて参加しました。4 月 21 日～28 日、カナダ Burlington･Hamilton クラブの温かいもてなしを受け、世界中で友好関係を展開している FF の活動を実体験できました。

Hamilton の ED、AED の Neil と Margaret はスケジュールを緻密に用意し、毎日同行し案内してくれました。観光バスの代わりに、スクールバスでメノナイトの暮らしぶり、Hamilton の自然や歴史、植物園、ナイアガラの滝の観光、電車でトロント市内巡りと、毎日めまぐるしく、でも充実した一週間でした。

エリー湖とオンタリオ湖の 100mの水位差を利用した Welland 運河には人間のたくましい叡智を感じ、ナイアガラの滝が削った土砂でトロント市の南に空港まである島ができたという話には、地球の動きを見た思いです。私のホスト Ziggy は 20 年前に飛行機事故で夫を亡くし、二人の子供を立派に育てた、体育と英語の元教師で、ウクライナ出身のとても個性的で楽しい人でした。熊本クラブを受け入れた時 ED をしたそうです。二日目、朝からスーパーへ行くというので、カナダの生活ぶりを見せてくれるのかなと思ったら、私の好みを聞いてくれて、いつも満足な朝食やお弁当、そして夜にはワインを用意してくれました。またディナーホストの Judy は末期の肺ガンで余命 3 ヶ月といわれているのに、カナダ滞在中、一番おいしいと思ったラム料理を作ってくれました。FF ベテラン会員の Judy は受け入れがあれば必ずホストをするそうです。Ziggy も関節炎、高血圧、事故の後遺症で首の捻挫と戦っています。そんな苦しみなど一切見せず、とても明るく寛容に人をもてなしてくれる FF クラブの魅力にますますのめり込みそうです。

会員のページ

― FF 愛知の会員のいろいろな趣味、若き日の懐かしい思い出などをシェアするページです ―

スケッチブックから見るカナダの風景―冨岡久子

久し振りの FF の渡航、そして 10 数年振りのカナダ！Morris 夫妻の気さくな人柄と温かいおもてなし。また一つ世界に親戚ができ、心の財産が増えました！
この時期のカナダは桜、モクレンが満開で、とてもきれいでした。それに maple の新緑がとても美しい。

St Jacobs のフリーマーケット

新緑の maple

Stay 先の庭に咲く花

■ 最も古い会員の一人である佐藤公世さん、FF とのつながりと若き頃のお話をしてください。■

― FF と私 ―

英語は大の苦手の私が、家内の友人の勧めで夫婦共々、ふらふらと FF に入会するハメとなり、ジョージャーのラリーばあさんを皮切りに（おっと失礼、今思えば美貌の中年でした）約 7 カ国のアンバサダーを受け入れてまいりました。

アンバサダーの滞在中は、毛糸の玉が咽に詰まったようで、僅かにつまみ出した英語の毛糸の端を頼りに引き出そうともがきますが、何時も一センチも引き出せず、アンバサダーの皆様には大変ご不便をお掛けいたしました。然しながら言葉の交流は出来なくとも、気持ちの交流は出来るもので、数家族とは十年以上文通が続いております。

― 若き日の記憶―計算機誕生始末記 ―

この写真は 1960 年頃、東京晴海で開催されたビジネスショーでの私とリレー式計算機です。当時は輸入品の自動で四則演算をする電動計算機が幅を利かせ、国産ではタイガー計算器と日本計算器の二社が手回し式の計算器を細々作っている状況でした。日本計算器の我々が出品した試作機は、テープ又はテンキーでデーターを入力するとプログラムに従って演算して、結果を電動タイプで打ち出すリレー仕掛けの計算機です。一応簡単な給与計算や、パラメーターを自動で変化させながら流体の計算式を計算して、数表を作るような仕事の出来る国産初のリレー式自動計算機です。搬入前日まで徹夜、徹夜の連続で、どうにか展示に間に合わす事が出来た次第です。ところが自動で派手に動く計算機が他社に無かったものですから、見学に来られた皇太子（今の天皇陛下）が立ち寄られるので、30 分前から運転を続けて置くようにと事務局から連絡があり、ご見学の間に故障して止まるのではないかと冷や汗物でしたが、幸いに無事連続運転して御供覧に供する事が出来ました。

立ち会った社長は、いたく喜んで『今夜は銀座で寿司を食わしてやる』とのことで、生まれて初めての高級寿司店の寿司を、高そうな物ばかり、若さに任せて鱈腹頂きました。若い時の一番華やかな記憶です。 ［佐藤公世］

事務局からのお知らせ

日本大会代表者会議から　　西村貴美子

大会初日、奈良県新公会堂において行われた。①高齢化問題②クラブ内の運営の問題点、③クラブ間の諸問題④社会貢献・国際貢献について話し合いが進められた。①について FF は年をとっても活動に参加できる。年を経て得る経験、知識を活用しようというポジティブな意見が多かった。②について役員が固定化し、新陳代謝がないという悩み、又世代間に意見の相違があり、クラブ運営がうまくいってないというクラブもあった。渡航では、皆に仕事を分担して貰う事は、ED の負担を減らせるし、参加者も役割を果たすことで充実感が持てる。また、こうした機会が人材の発掘にもなる。（愛知クラブは既に実践している。）

渡航 ED に対するインセンティブについて、FFI は earned seat を奨励しているが日本にはなじまなく行っているクラブは少ないとの石井さんの説明があった。今回、代表者会議を前日にし、会議が 2 日間にわたった事が説明され、意見を求められた。大半の人が討議時間が多く取れてよいと賛成。この後 6 時から懇親会。鍋をつつきながら、自己紹介から始まり、話をしている内ぎこちなかった参加者も次第に打ち解けてきた。私達のテーブルには、熊本の早田さん、奈良クラブの方がおられ、楽しいお話を伺った。お名前は存じ上げていてもお顔を知らない方が多く、お顔を知るよい機会だった。お鍋料理は地域でやり方が違い、それを話題に又話がはずみ、2 時間があっという間だった。

■ 2009 年交換 ■

・秋の渡航オランダ	9 月 21 日～10 月 1 日	ED 加藤紀子　AED　青山暢子
・秋の受入　スイス	10 月 3 日～8 日	ED 谷川智恵子

■ 2010 年交換 ■

・春の受入　イギリス	4 月	ED 橋本忠幸
・秋の受入	未定	
・秋の渡航　ドイツ　イギリス		

夏の親睦バス旅行のお知らせ　　担当 加藤紀子

≪清里・萌黄の村でのフィールドバレエ鑑賞≫

■8 月 1 日（日）
8:25 集合　名古屋駅―駒ヶ根―小渕沢―八ヶ岳―清里
☆ご希望があれば、希望を入れ、車を走らせていただきます。
清里リトルバード【ペンション】到着後食事をし、森の中で行われるバレエを見に行きます。希望者のみ　コレは毎年（今年で 21 年目）夏のこの時期 10 日間くらいしか行われていないものです。一度は皆さんに観ていただきたいものです。8 月 1 日の公演内容は幸いにも「シンデレラ」です。http://www.moeginomura.co.jp/FB/index.html
■8 月 2 日（月）
8:00　朝食－9:00 出発－10:00 富士見　希望者のみブルーベリー狩り
入場料は要りません。ブルーベリーは自分のとった分は 1 キロ 1,000 円で分けていただけます。
12:00 昼食（そば）
■参加費 20,000 円、バレエ鑑賞チケット代金 4,000 円（希望者）

今月号から≪会員のページ≫を入れました。皆さんに楽しんで頂ければ幸いです。感想をお寄せ下さい。
また、投稿をお待ちいたします。ニューズレター制作担当：鷹野晴子 htkn@ma.medias.ne.jp

編集・発行：FF 愛知　事務局：〒478-0001 愛知県知多市八幡字笹廻間 12-199Tel. & Fax. 0562-34-0890 西村　貴美子